

ヨーロッパにおける泥棒事情

- 1) スtockホルムでちょっとトイレにいった隙に荷物を取られた。
- 2) オsロでホテルのチェックイン時に足元の荷物が無くなっちゃった。
- 3) コペンハーゲンでタクシーを呼んでいたら鞆が無くなっちゃた。
- 4) プラハで人ごみを歩いていたら鞆のポケットから財布をすられた。
- 5) ミュンヘンのホテルのレストランで、食べ物を取りにいった隙に鞆が無くなった。
- 6) アムステルダムで街中で女性2人に声を掛けられて話をしている内に、体をすりすりさせられて、財布が無くなった。
- 7) ブラッセルのレストランで足元においた荷物が無くなった。
- 8) ヘルシンキで乗ったバスの中で、足元に置いた鞆の中から、パソコンをやられた。
- 9) ルクセンブルグ駅でアイスクリームを掛けられて、親切な人が駆けつけてきて、服から財布を盗んでいった。
- 10) ベルンの街角で、車のパンク時に手伝ってくれた親切なおっさんに鞆をやられた。
- 11) ウィーンで子供に囲まれてポケットから財布をやられた。
- 12) パリの地下鉄の切符入場でトラブルに巻き込まれ、後ろのおっさんにポケットから財布をやられた。複数で組んでわざと機械に通らないカードを入れてトラブルを起こす役と財布を盗む役、それを持ち逃げする担当と相手は複数であることに注意。
- 13) ミラノで偽警察官に1万円巻きあがられた。
- 14) ロンドンの地下鉄で降りるときに足を掛けられ転倒した時にポケットから財布をやられた。
- 15) アパートにドロボーがカギを開けて入ってきた。
- 16) 旅行から帰ったら泥棒さんが入った。何も盗る物が無かったらしくて、腹いせにベッドの上にウンチが置いてあった。

*別件：車関連；①西ヨーロッパの全ての国で、スピード違反+駐車違反（レッカー含む）、交通事故は2回（優先道路、優先権が地域によって異なる。）

こんなノウハウは生かさない手は無いよね。あーあ。

功刀

1) 泥棒さんからの視点：

＊泥棒さんはプロである。必ずペアーである。服装はきちんとしています。汚い格好などしていれば警察官に職質されてしまいます。従って身だしなみは紳士です。深迫いは禁物（他の荷物がやられる。取った奴は物を持っていない。＝そいつを責めても何も出ない。）

＊新聞・段ボールを持った子供の集団は、子供スリ集団です。かわいいなんて気を許すな。

＊旅行者はネギ+鴨である。（地図を片手に、キョロキョロしていれば旅行者）

＊日本人はスキだらけ！（ズボンの後ろのポケットから財布がはみ出している。上着のポケットに財布が入っている。ポシェットが後ろ、横でぶらぶらしている。一つに気を取られると、荷物管理がおろそかになる。場所取りの為、荷物を置いてその場を離れる。）

＊荷物から 3 分、15m 離れたら、もう決して荷物は戻らない。

＊駅員も、ホテルの従業員も危ない。最近では偽警察官もいるよ。

＊俗に言われている西ヨーロッパには、多量の出稼ぎ労働者がいる。（中近東、アフリカ、最近では東ヨーロッパからも）彼等は容易に置き引き・スリ化しやすい。アラブ顔（鷹鼻、ひげ、黒髪、ちょっと浅黒）で小ざれいにしたら様注意。複数でなくても要注意（後から複数になる。）

2) 事例の詳細： ＊土地名は必ずしも一致していません。（ごめんなさい！）

(1) トイレに行った隙に荷物が無くなった。

＊空港、駅にはプロがたむろしています。（旅行者はネギ・鴨ですから）荷物をもって降りてきたら鴨ですからつけていきます。

＊荷物を置いてトイレにいったら、それはプレゼントです。

(2) ホテルの混んでいるカウンター、空港の航空券販売カウンター（チェックインカウンターとは違う）（特に遅延、キャンセル時など、殺気立って混んでいる時は要注意。）などで、それ（チェックイン、チケット購入・変更）に夢中になって、足元の荷物から注意が無くなってしまう。

＊後ろに並んでいる奴は要注意。グルになって私を覗き込み、囲んで、一人が、荷物を失敬する。＝>一人の時は、荷物は足で押さえていること。又は足で挟んでおくこと！！

(3) 西ヨーロッパでは手を挙げてもタクシーは止まらない。（イギリスは止まる？）

＊荷物をそのままにしておいて、タクシーと行き先の打ち合わせなどしていると、荷物がなくなる。特に駅、空港ではプロが多量にうろついている。

＝>複数人で旅行をする場合は、一人は荷物番に徹するように！

(4) 人込み（市場、ショッピング街など）では、荷物に人が触れても判りにくい。

＊たとえリュックでも、彼等は背が高い、堂々と紐をはずして、リュックの中から荷物を失敬する。これは、本当にプロだと感心した。（被害は少量だったので、プラハが嫌いになることは無かった。=>大きな荷物を抱えて人ごみに入らない事！

＊彼らはグルなので、一人が注意を反らし（体にそれとなく触れてそちらに注意をそらせる）その間にもう一人が、リュックから荷物を失敬する。

(5) 席取りの為に荷物を置いて、食料を取りに行くなんて、ホテル従業員にとってはプレゼントが置いてあるに等しい。（従業員はテーブルをきれいにする目的で、荷物もついでに持って処理してくれる。）

＊ホテルの部屋も要注意；ベットメイキング時に貴重品が置いてあれば、チップと良心的に考えて失敬するのは当然である。

=>複数人の時は交互に、単独の時は席とりならば、ナプキン、コーヒーカップなどを置いて主張しておくこと。

(6) 歓楽街に一人で出かければ、鴨ネギである。二人組の女性が親しげに話しかけてくるなんて、日本でもあり得ない。体をスリスリさせられた時はもう遅い。

＊直ぐに盗られた事に気がついて、猛烈にくって掛ったら、一人の女が、持っていないという、脱ぎ出した。（上も下も堪能したので良しとするか?!）そのドサクサで、もう一人がいなくなっていた。

(7) 観光客が多く出入りするレストラン（ムール貝、など）では、混雑しており、相席はごく普通に行われる。2人で夢中に話し込んでいると、足元に置いた荷物から注意がそれる。泥棒さんは複数ですから、向こうも旅行者風情で、我々の隣に座ってくる。一人が隙を見計らって荷物をずらす。もう一人がその荷物をもってとんずらす。=>足元に置いた荷物は必ず足を添えておくこと。2人同時にトイレに行かないこと。

(8) 不自然な声掛け、同席依頼は要注意です。

バスの座席の下に鞆を置いた。うとうとしていたら、後ろのやつに鞆からパソコンを盗まれた。

＊バスから運び出される瞬間の2事例：

①彼らがバスから降りる瞬間：私が眠りこけていて後ろの奴らが出ていく瞬間が判らない。

②私が起きている時、一人が私の席の隣に座り込んで何やらしゃべりだす。其のすきにもう一人がパソコンを抱えてバスを降りる。慌ててもう一人もバスを降りる。

＊あれ？鞆が軽くなっているので、パソコンがやられたのに気がついた。

(9) アイスクリームもあれば、ヘヤームースもある。

＊エスカレータや混んでいる時、一人が背後から近付き、背中に振りかける。（比較的混んでいると、後ろにグルがいれば、他人には判りづらい。かけた奴はそこから立ち去る。私の後ろのグルが”旦那！背中に何かついてる”としばらくたつた後に親切にも注意してくれる。そして服を脱がせて、あちこち服を調べている間に財布を抜き取る。又は、服に気をそらして、持っていたカバンをもう一人が失敬する。

=>相手は複数で自分は荷物を持っているので、服のクリーニング代は我慢するとしてせいぜい威嚇して立ち去る。

(10) パンクさせられ鞆を取られりやー踏んだり蹴ったりだー！

＊傷をつけられるケ一元もある。

＊旦那、旦那、この事おかしいよ？と言われた時は要注意。どれどれ、どこだなど、その口車に乗せられて、注意をそちらにそらすと、手に持っていたカバンは、泥棒さんが抱えている事になる。

！！：ヨーロッパでは車の外から見えるところに荷物は絶対に置くな！！

(レンタカーの場合：レンタ・ナビの表示部も要注意、ガラスを割られて持って行かれる。)

(11) 観光地の広場に行くと、俗に言われている”ジプシーの子供たち”がいる。

＊集団で新聞紙をもったり、小さな段ボール紙を持ったりして、取り囲まれる。中の一人が服や鞆のポケットに手を突っ込んで、めぼしい物を拝借していく。

(12) 単独時にこれに引っ掛かると防ぎ様が無い。私の場合はたまたま複数人だった。

私の前に割り込んだ奴がいて、そいつが前に行く同僚のポケットに手を突っ込んでいるのを見かけて貼り倒したので未遂だったが。

＊状況：泥棒さんの一人が無効の切符で自動改札に向かう。私がその後に続く。(私の前に第一の泥棒さんが割り込む。) 前の泥棒さんは入場出来ないので入口で立ち止まり、機械に向かってガチャガチャやり始める。私はそれでスタックする。そうすると私の後ろにいる泥棒さんの方割れが、”おとつと”と青いながら私を押す。そしてドサクサに紛れて私のポケットに手を突っ込み財布を抜き取る。

(13) 他のメールの記事を再度、掲載する。

＊最近の巧妙な泥棒さんに注意：(駐在員もやられた。)：偽警察官の巻き：

①旅行者と思しき者が道を訪ねてくる。(彼は地図などを御丁寧に持っている場合もある；)

②そこに、警察官と思しき男が来る。(マイクみたいな物を首から掛け、ポケットから無線の音らしき物も流れている。)

警察官いわぐ’お前らおかしい。何か変な相談をしている。おかしい”という。

③次に、警察官がもう一人の男に、”パスポートを見せろ”という。

④そして、警察官が”おまえのパスポートも見せろ”という。

⑤さらに、警察官がもう一人の男に”偽札を持っているかもしれないので、財布を見せろという”

⑥ついに、”おまえも財布をみせろ”という。

⑦財布の中身を調べられている時に、紙幣の何枚かを抜き取られる。(カードを抜き取られる場合もある。)

=>対策法：路上で警察官がパスポートを見せろなんて、ほとんどいわない。(ヨーロッパ人はパスポートで無く ID カードを持ち歩く。)

(但し、ID を路上で見せろなんて言われた事が無い、と知っているし、警察もそんな事は要求しない。(アパートの大家が元警察官だった。))

(1) 無視して離れる。(2) しつこかったら殴る。(空手の格好はけっこう役立つ。)

3) その他：レンタカーした場合の注意事項：

①ランナバウト（何本もの道路が混じり合っている、ぐるぐる回る交差点）への入り方。

*イギリスは中を走っている方が優先権がある。

*大陸では交差点に入る方に優先権がある。

（大陸では、右側優先である。交差点で右側にいる車に優先権がある。従っ

てたとえランナバウトでぐるぐる回っていても、ぐるぐるに入ってくる方に優先権がある。だから下手をするとぐるぐるから出られなくなってしまう。（出ようとする車が入ってくる。)) 大陸では交差点に差し掛かると、右側しか見ない。（右側を見ながら、交差点を直進していく。）（ベルギーではこれによって多くの事故が発生し、悪しき習慣と言われて久しいが中々改善されない。（私もこれで事故った。))

②車の中に荷物を入れたままで車から離れるな。（再度注意する。）

車の窓を破られるよ！！

****無事の生還を祈る。